



石原武志 議員

連発する熊本大地震を受け 未対策の本町小学校地震対策は

町長 総合的判断に基づき早急に
耐震対策を実施する



問 熊本で未曾有の地震が連続している。他の災害時を含めて被災した場合駆け込むのは付近の公共施設であるが、それらの施設の耐震策は取られているか。

答 今のところ従来通りの耐震改修を順次実施していく予定だ。

問 災害の種類によって、特に地震は広く町内全域に避難対象者が出る恐れがあるが、その際の避難先は当然公民館、小中学校となる。小中学校の耐震改修は全国的にもかなり進んでいる。

本町もそれに合わせ実施されているが、この頻発する地震状況から行けば、今以上に地震対策を



対策が待たれる布勢小学校

早めるべきだ。

答 文部科学省ではこの熊本地震を受け、構造的被害調査・耐震性能の検討を開始したと伺った。

問 早急な要求をしても対応が難しい事は理解する。他方で統廃合や小中一貫教育など議論は広くある。学校施設の改修とそうした議論は切り離して考えるべきではないか。

震度6で崩壊する危険性がある三成・布勢小学校をその議論に乗せることで改修が遅れてはいいないと思うが。

答 いずれの施設も建築から50年以上経過しており改修が必要と考えている。しかし高額の費用を要することもあり総合的に判断し取組みたい。

問 地域性や伝統技能の伝承等を加味し、木造建築などを視野に広く考慮し、早急に進めて頂きたい。

次に、参議院選挙が間近に迫っている。問題点がいくつかあるが、まず合区という状況についてどう思うか。

答 この度の参院選挙から適用される制度で、全国的にも山陰と四国のみ非常に特殊な選挙形態と認識している。該当の県関係者のみならず合区解消への動きが見られ期待をしている。

問 この選挙制度改正は区割り内の人口数によって一票当たりの重さが基準になっており、地域性が反映されていない。地方創生をうた

みんなで行こう！
投票

大勢の投票への一歩を
みんなで作らしましょう

参議院議員選挙

う現内閣の中で実行されるのは納得がいかない。

一人一人の権利は当然として、同様に地域社会としての権利も考慮すべき。参院選は特に地域性・組織の代表を大切にすべきと考える。ぜひ是正の為尽力願いたい。

さらに18歳以上の選挙も同時に実施されるが対象者にはどのような対策がなされているか問う。

答 広報の配布にあわせて投票啓発チラシを全戸配布した。家族の中で投票への意識高揚を期待する。

高校生には総務省・文部省共同による副読本が配布、県教委や選管が連携し模擬投票など高校の要望に沿った支援を行っている。

投票啓発チラシ